点訳資料　8

楽譜点訳の会「星」

平成 13 年 11 月

コード付き楽譜の点訳の方法（凹面）

コード記号表

＊コードの前置符

コード名	シンボル方式	コードネーム方式
C		
Dm		
E♭7		
F♯m7-5, F♯m7♭5 F♯mØ		
Bm♭5, Bm-5		
GM7, Gmaj7, G△7		
AmM7, Amᵐᵃʲ⁷, Am△7		
Bdim, Bdim7, B°		

コード名	シンボル方式	コードネーム方式
C7sus4, C7sus		
Caug, C^{+5}, C^{+}, $C^{(\#5)}$		
Cm(BassG), Cm／G, $\frac{Cm}{G}$, $Cm^{on}G$,		
$E7^{+9}_{+5}$		
$C7\ (^{13}_{\#11}{}_{9})$		
$C7\ (^{13}_{\flat 9})$		
$C7^{(11)}$		
Fm add9		
Em7(addA)		

拍数について　（譜例Ｉ）

（１）コードシンボルの場合

・コードの拍数は音符で表す。

・数字を伴ったコードの次に８分音符がきた時は８分音符の前に必ずつぎ符（３．６の点）を付け、数字と音符の境を明らかにする。

・コードの拍数を一つの音符で表せない時はタイでつないで表す。

記号や数字を伴ったコードの場合、タイ記号の後は音符だけでよい。

Ｆ７：　Ｆ７・タイ記号・Ｆ

Bass の指定がある場合は

Ｄｍ／Ｃ：　Ｄｍ・タイ記号・Ｄ・３．４の点・Ｃ・タイ記号・Ｃ

Ｃ#７／Ｅ#：　Ｃ#７・タイ記号・Ｃ・３．４の点・Ｅ#・タイ記号・Ｅ

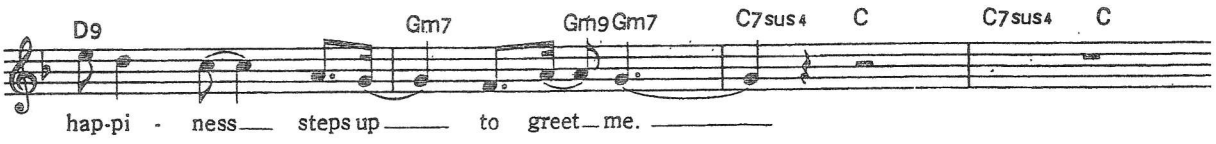
（２）コードネームの場合

・１小節に１個、又は複数のコードがあっても各々の拍が均等な場合はそのまま書く。

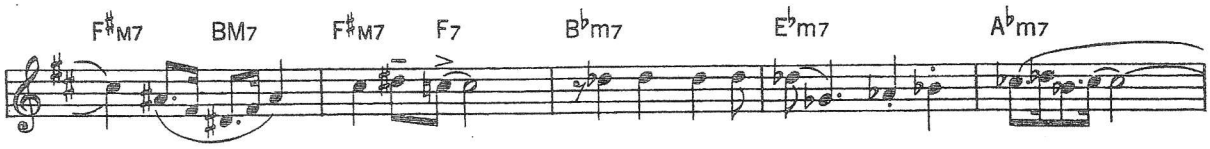
・１小節内の複数のコードの拍が違う時は、単位となる音符の長さを考え必要に応じてレ下がりを使って拍数を合わせる。レ下がりを使う時はコードネームとレ下がりの間につぎ符（３．６の点）を付ける。レ下がりの数が４個以上になった時は数字を使ってよい。

譜例 I

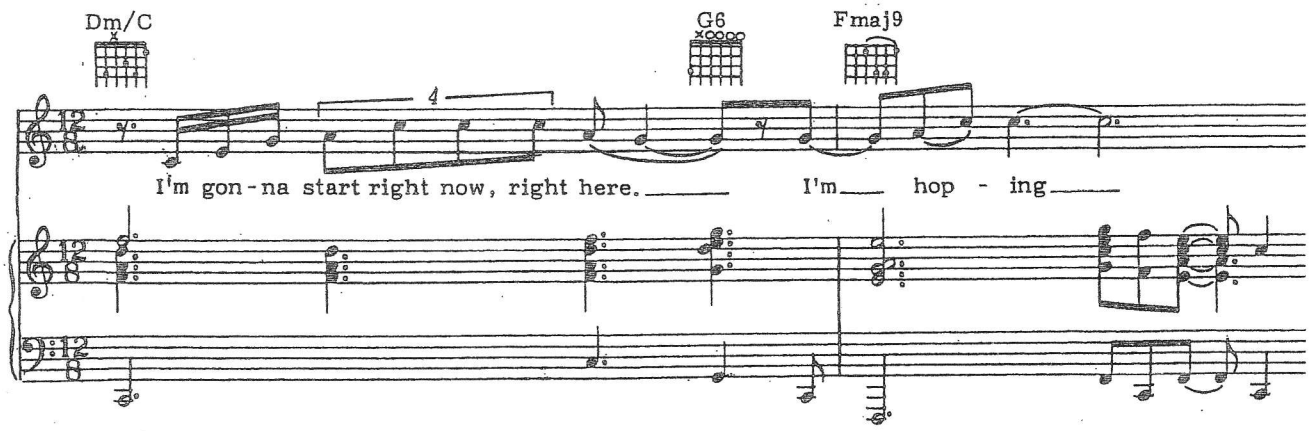
1.


D9
Gm7
Gm9 Gm7
C7sus4
C
C7sus4
C
hap-pi - ness steps up to greet me.

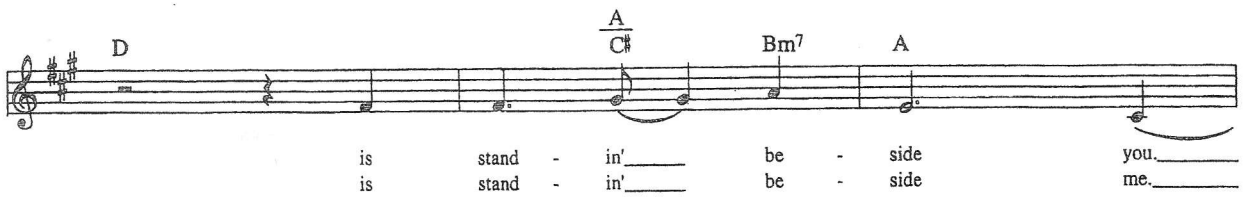
2.


F♯M7
BM7
F♯M7
F7
B♭m7
E♭m7
A♭m7

3.


Dm/C
G6
Fmaj9
4
I'm gon-na start right now, right here. I'm hop - ing

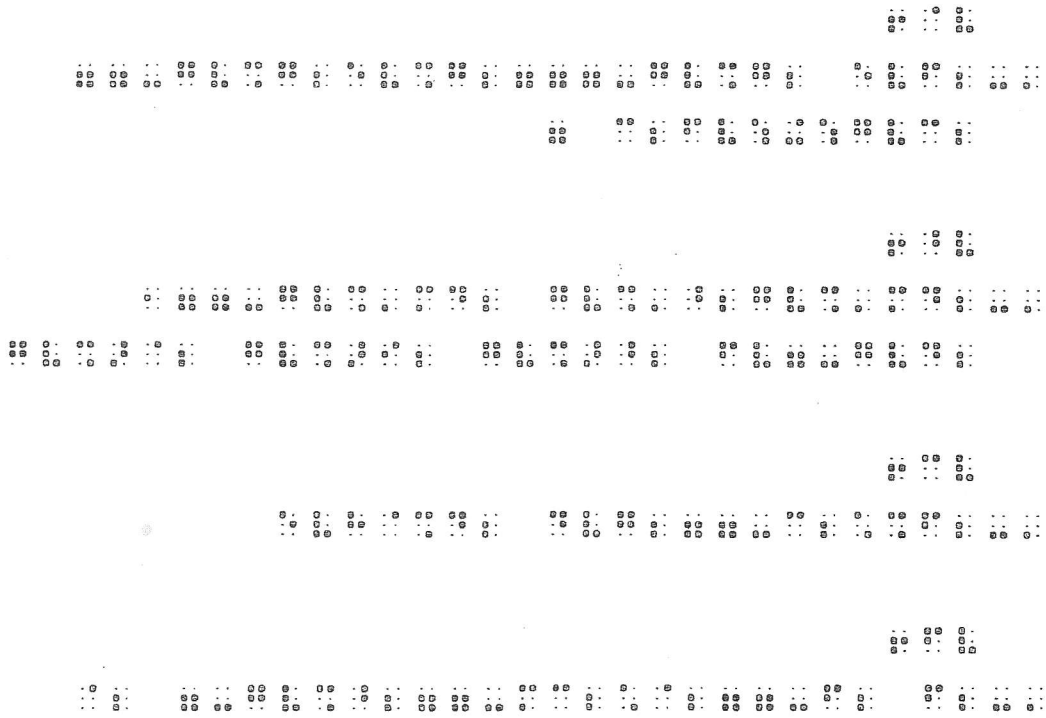
4.


D
A/C♯
Bm7
A
is stand - in' be - side you.
is stand - in' be - side me.

点訳例 I

コードシンボルの場合

コードネームの場合



書き方　（譜例ＩＩ）

（１）　１小節毎にコードを書いていく方法

ア。単旋律の場合、旋律に続けてコードの前置符、コードを書く。

イ。ピアノ譜の場合は、左手パートに続けてコードの前置符、コードを書く。

・Ｎ.Ｃ.・ ｔａｃｅｔ が曲の始めにある場合と、コードが書いてない小節はコードを書かなくてよい。

・Ｎ.Ｃ. ｔａｃｅｔ が曲の途中にある場合は休符を書く。

・小節の前部分が省略されていて後の部分のコードのみが書かれている場合は、その省略されているコードも必ず書く。

・リピートの始めの記号は旋律の前に、リピートの終わりの記号、複縦線、終止線はコードの後に書く。

（２）　コードを一つのパートとして扱う方法

ア。単旋律の場合、旋律パートの次の行の１マス目よりコードの前置符に続けてコードを書く。行替えは３マス目。

イ。旋律に歌詞がついている場合は、旋律・歌詞・コードの順になる。

ウ。ピアノ譜の場合は、通常のピアノ譜の左手パートの次の行の１マス目より前置符に続けてコードを書く。行替えは３マス目。

エ。旋律、歌詞、ピアノ伴奏の場合は、旋律・歌詞・ピアノ・コードの順に書く。

・曲の始め又は Ｎ.Ｃ.・ ｔａｃｅｔ でコードが書いてない所は休符を書く。

・小節全体又は一部を省略して書いてない所は、省略されているコードを書く。

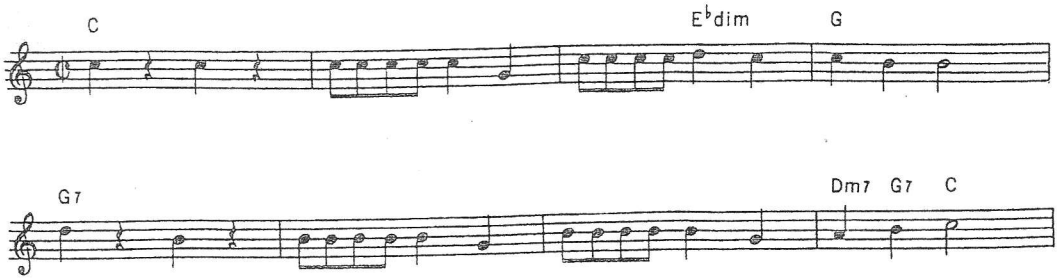
・コードのパートにも拍子記号、リピート記号、１番カッコ、２番カッコ、セーニョ、ダルセーニョ、ビーデ、複縦線、終止線を書く。

その他

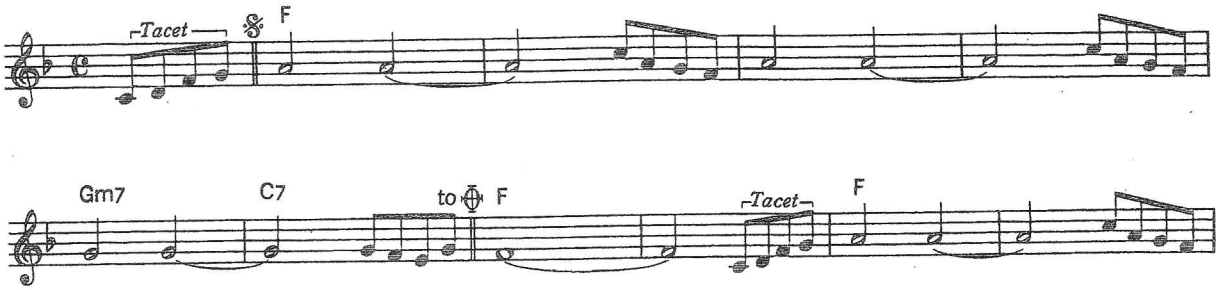
（１）（２）とも、コードの途中での行替えはしない。コードとコードの間での行替えはかまわない。

譜例 II

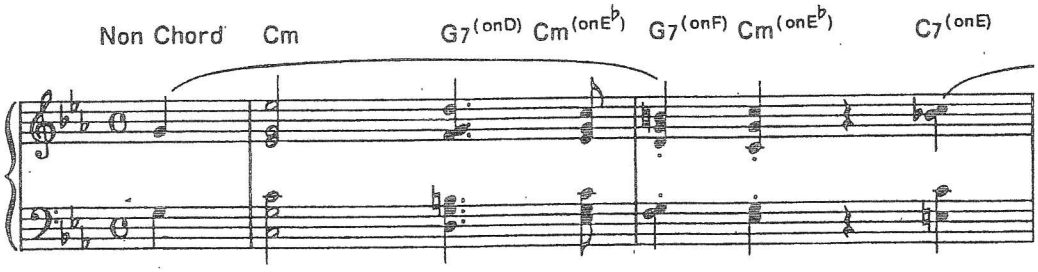
1.


C
E♭dim
G
G7
Dm7
G7
C

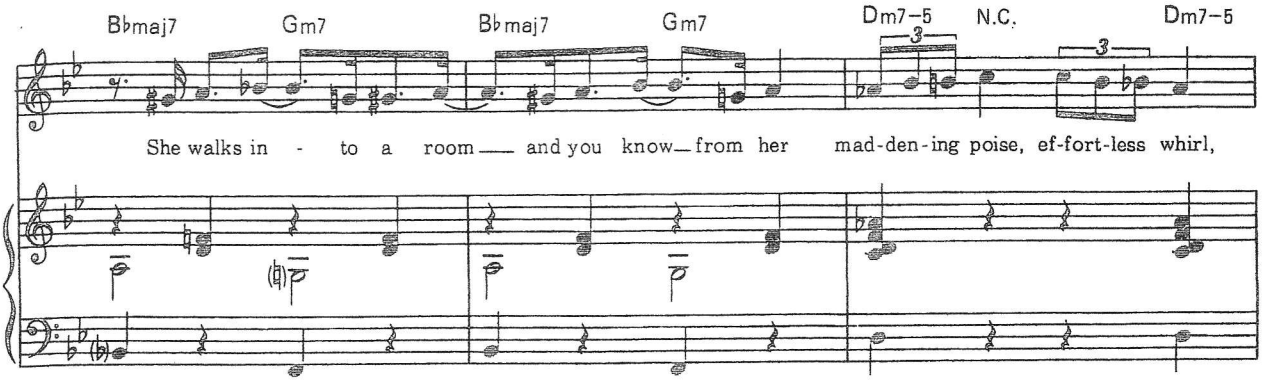
2.


Tacet
F
Gm7
C7
to
F
Tacet
F

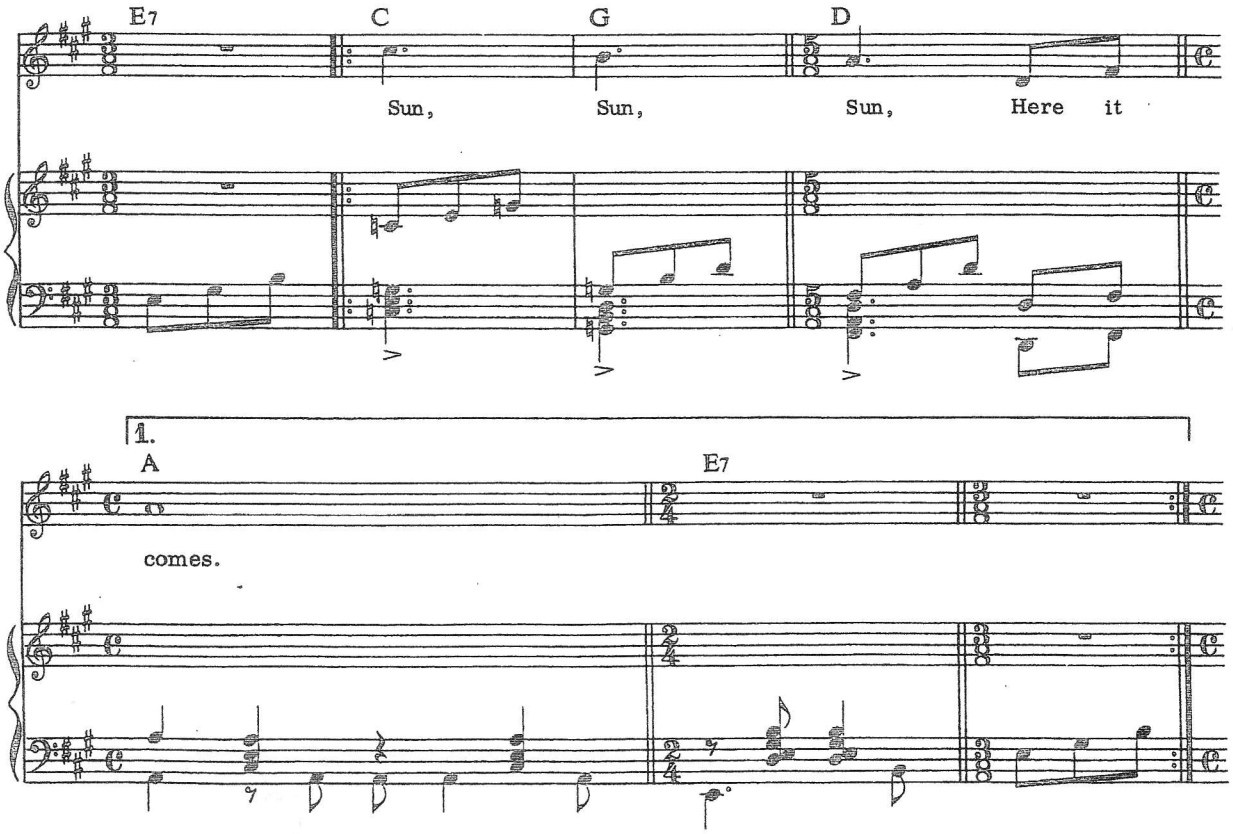
3.


Non Chord
Cm
G7(onD)
Cm(onE♭)
G7(onF)
Cm(onE♭)
C7(onE)

4.


B♭maj7
Gm7
B♭maj7
Gm7
Dm7−5
N.C.
Dm7−5
She walks in - to a room — and you know — from her mad-den-ing poise, ef-fort-less whirl,

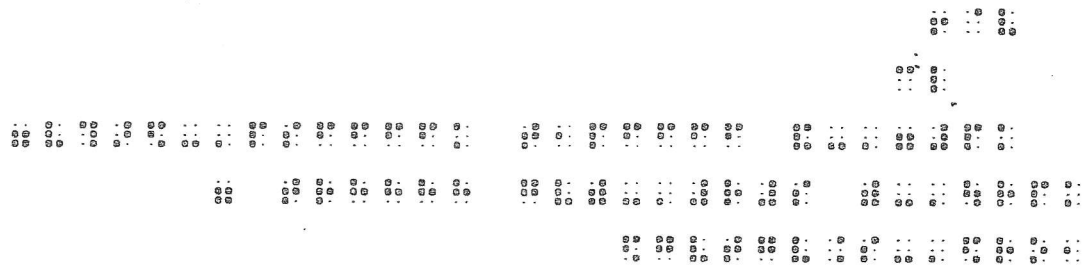
5.

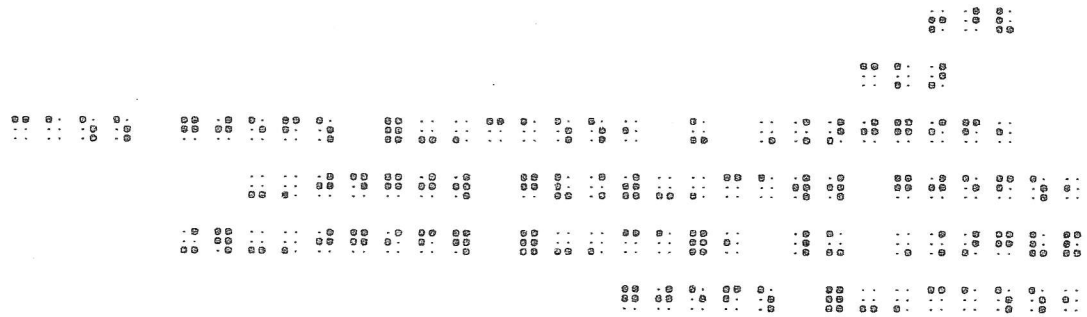

E7
C
G
D
Sun, Sun, Sun, Here it
1.
A
E7
comes.

点訳例　ＩＩ

コードシンボル方式

（１）　１小節毎にコードを書いていく方法

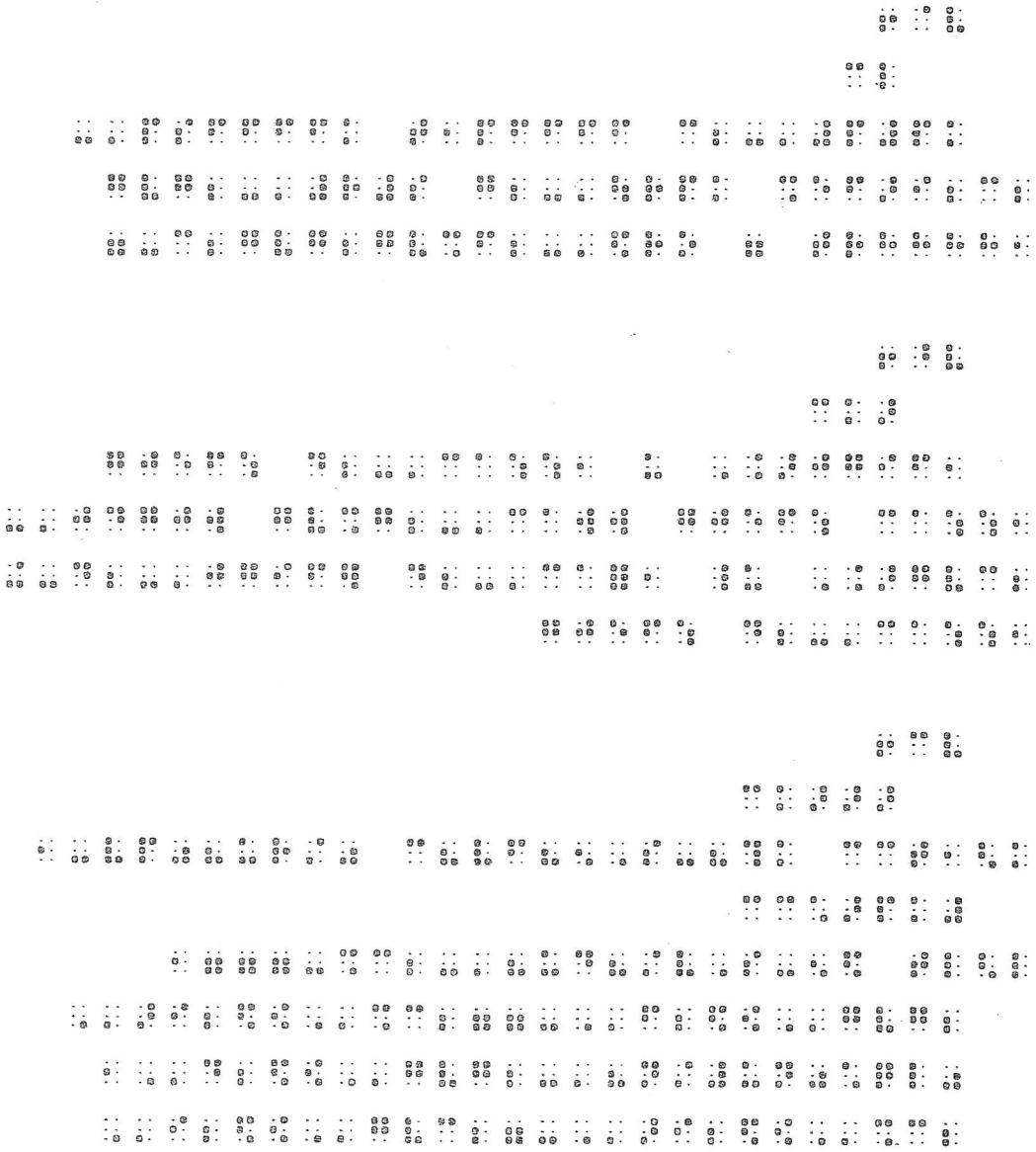
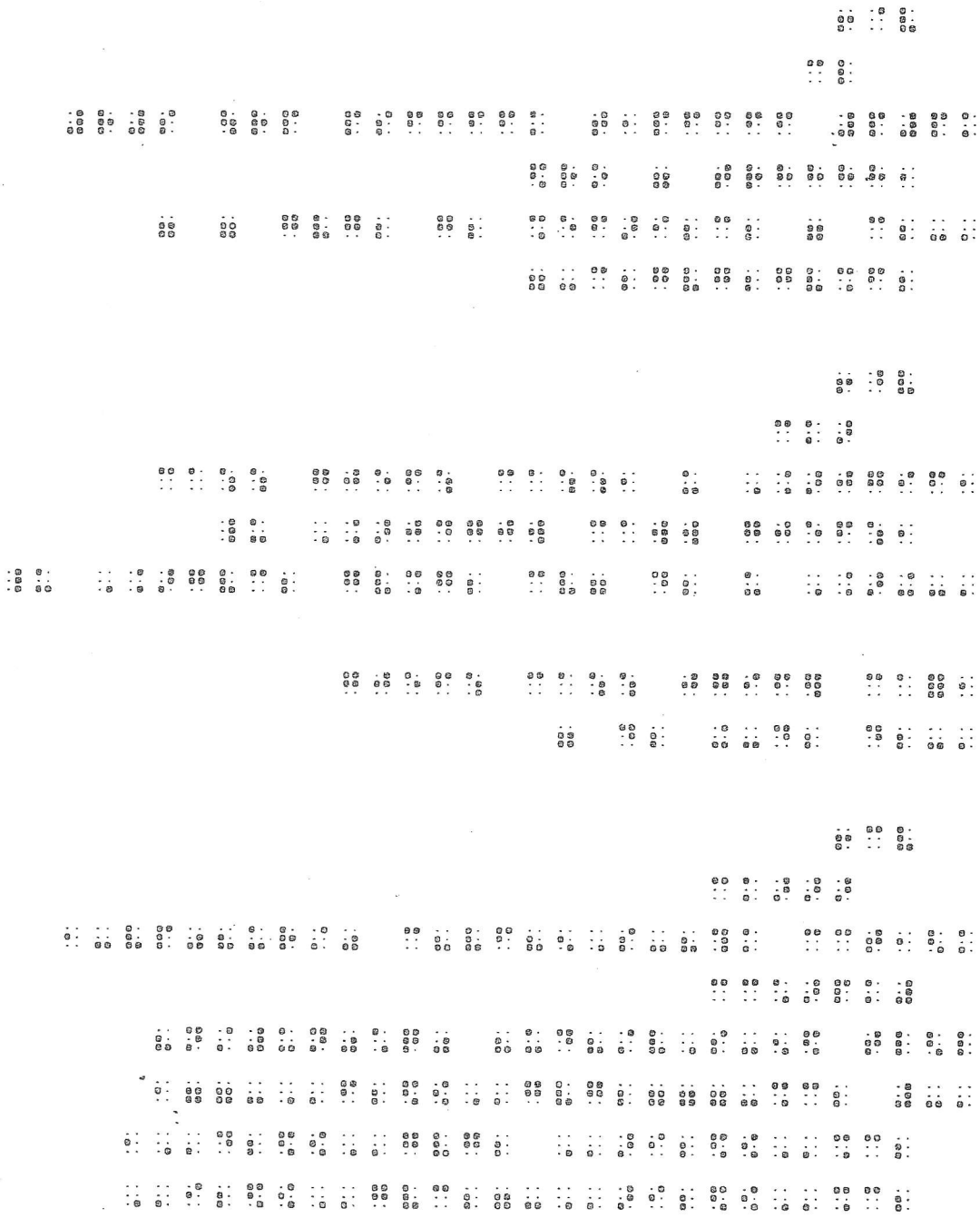




（2）　コードを一つのパートとして扱う方法

コードネーム方式

（1）　１小節毎にコードを書いていく方法



（2）　コードをひとつのパートとして扱う方法